

はじめに

動物の身体検査とアセスメント（評価・分析）は、獣医療における重要な一部です。

ここでは基礎知識やみるべきポイント、動物の扱い方、猫が安心して来院できる病院づくり、診療補助に必要な技術、そしてさまざまな身体検査項目などについて詳しく説明します。診療補助や病院環境の整備、動物の扱い方を含めて、ご自身のスキルと獣医療の質向上にお役立てください。

基礎知識と身体検査のポイント

獣医師や愛玩動物看護師は、動物の身体検査を通じて健康状態を評価し、必要な治療やケアを提供します。基礎知識と身体検査のポイントについて、以下にまとめます。

1. 身体検査の目的

※実際の内容と異なる場合があります

- 健康状態の評価
- 病気や異常の早期発見
- 治療効果のモニタリング

体の外から異常がないかを確認するもので、体重測定・視診・触診・聴診が一般的です。動物病院で定期的実施することで、上記3つの目的達成に役立ちます。

2. 身体検査の順序

- 意識レベルの評価
- 体重の測定
- 呼吸と脈拍の測定（肺音や心音の異常も確認）

執筆者



Ito Hiroyuki
伊藤 裕行 獣医師

刈谷動物病院グループ市川総合病院 顧問
日本獣医再生医療学会 常務理事
一般社団法人どうぶつ予防医療協会 代表理事

所属
日本獣医がん学会 日本獣医腎泌尿器学会

